



<保育所での食育>～「食べることに感謝して～」

子どもたちにとって「食べること」は、おいしさを感じながら大好きな先生や友達と一緒に過ごす楽しい時間です。0・1歳児は「自分で」と手づかみ食べからスプーンを持って食べるようになり、お腹も心も満たされ情緒が安定していきます。

5歳児は地域の方のご厚意で田植えを経験させていただきました。また、自分たちが食べる物はどのように育つのか、保育所の畑でさまざまな野菜を育てています。春には豆やジャガイモ、夏にはトマトやピーマンなど水やりや草取りをして育てて収穫し、一番美味しい「旬」を知らせています。

自分たちが食べているお米や野菜の成長過程を間近に見て「食べること」へのありがたみを感じたり、四季折々の行事食に触れ日本の食文化を学んだりして、保育所ならではの食育に楽しみながら取り組んでいきます。

「春が旬のタケノコに触れてみたよ！
皮を触ったり、むいて遊んだり。
いつも食べている姿との
違いに驚いていました
「みてみて～、ヒゲみたいでしょ！」
「毛がはえてるよ」



初めての
田植えにドキドキ
「わ～ぬるぬるする」
「苗を立てて
ぎゅっと入れるよ」



子どもの日
柏餅を食べたよ！
「くんくん」
「このはっぱ
いいにおいするね」



パクパク、モグモグ。
おいしいね。



スプーン使って
食べてみるよ



市長の部屋



暑い夏から秋へバトンタッチする9月。

高く空気が澄んだ空に、澄みきった心で一日をスタートできる好季節となりました。

9月といえば、お月見や彼岸、秋分の日などの行事が有名です。秋分の日には、昼と夜の長さがほぼ同じになります。読書や芸術、趣味などを楽しまれてはいかがでしょうか。

本市では、9月9日に市内の全小中学校で新米給食会が行われます。今年も児童生徒の新米を美味しく頬張る笑顔が楽しみです。この新米給食会が続けられるのも稲作受託部会の皆さまのご支援とご協力の賜物と感謝申し上げます。

結びに、少しずつ日暮れの時間が早くなり、秋の気配が色濃くなってまいります。皆さまお健やかに過ごしてください。

弥富市長 安藤正明